

科目名 (Subject)	商法研究 I (発展) Commercial Law I (Advanced)		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	後 期
担当教員名 (Name)	多木 誠一郎 (英訳) Seichiro Taki	研究室番号 (Office)	4 3 5 号室
Office Hours	月曜日 13時00分～14時00分。左記時間外でも訪問歓迎		
<p>1. 授業目的・方法 (Course objective and method) 非営利法人法についての学力を身につけることを目的にします。 受講生の皆さん 1 人 1 人に報告していただいたうえで全員で議論する方法をとります。</p> <p>2. 授業内容 (Course contents) 営利法人法について下記の通り、一通り取り上げる予定です。もっとも、受講生の関心に応じて柔軟に対応します。非営利法人法以外をテーマにして欲しい等 (例えば、会社法、第一次産業と法、アグリビジネスと法、商取引と法、金融決済と法、会計・監査と法……)、何か特別の希望がある場合には、気軽にご相談下さい。</p> <p>第1週 オリエンテーション</p> <p>第2週～第3週 非営利法人の意義 (予習課題) 非営利法人の種類 (復習課題) 営利法人との異同</p> <p>第4週～第5週 非営利法人の歴史 (予習課題) 授業中に指示 (復習課題) 国内外の発展経過</p> <p>第6週 非営利法人における社員関係 (予習課題) 社員関係の得喪 (復習課題) 社員の権利義務</p> <p>第7週 非営利法人の事業 (予習課題) 事業の範囲 (復習課題) 事業規制の適否</p> <p>第8週～第10週 非営利法人の機関 (予習課題) 機関構成 (復習課題) 規整の趣旨と実際</p> <p>第11週 非営利法人の財務 (予習課題) 資金調達 (復習課題) 会費・出資・持分</p> <p>第12週 非営利法人の組織再編 (予習課題) 組織再編の手段 (復習課題) 各手段の長短所</p> <p>第13週 国家と非営利法人 (予習課題) 非営利法人と国家との関係 (復習課題) 非営利法人に対する行政庁の監督権限</p> <p>第14週 最近の動向 (予習課題) 法改正の内容 (復習課題) 法改正の趣旨</p> <p>第15週 フォローアップ</p>			

3. 使用教材(Teaching materials)

受講生の関心・レベルに応じて、受講生と相談の上で決めます。

4. 成績評価の方法(Grading)

出席率 10%

授業への参加度 60%

ホームワーク 30%

5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)

秀 (100～90) : 非営利法人法について秀でた理解力を有し、法的問題を解決する能力が秀でている。

優 (89～80) : 非営利法人法について優れた理解力を有し、法的問題を解決する能力が優れている。

良 (79～70) : 非営利法人法について良好な理解力を有し、法的問題を解決する能力が良好である。

可 (69～60) : 非営利法人法について理解力を有し、法的問題を解決する能力がある。

不可 (59～0) : 非営利法人法についての理解力が不十分であり、法的問題を解決する能力が不十分である。

6. 履修上の注意事項(Remarks)

コツコツと地道に勉強していきましょう。

法学の勉強をしたことがない方も歓迎します。

受講生の希望があれば、①札幌サテライトでの授業、②集中講義の形式での授業、③取り上げるテーマの変更等(上記2参照)、柔軟に対応します。気軽にご相談下さい。